

平成 1 7 年度

業 務 計 画

FY2005

Annual Plan of
Miyazaki Prefecture Industrial Technology Center

目 次

1. 業務計画の概要	1
2. 組織・事務分掌	3
3. 職員配置表	4
4. 職員現況表	4
5. 事項別歳入歳出予算	5
6. 試験研究の概要	6
7. 技術の普及指導	8
8. 依頼試験分析及び工業相談	9
9. 主な会議・研究会等への参加	10
10. 主な購入予定設備備品	11
11. 技術情報業務	11
附 関係団体等一覧	12

1 業務計画の概要

宮崎県工業技術センターは、工業技術分野において、県内産業の振興を図ることを使命とし、主として中小企業を対象とした各種の工業技術に関する研究開発・技術指導・依頼試験業務を行っている。

研究指導業務は、環境浄化技術や廃棄物を有効利用するための技術開発、新製品の開発や製品の品質向上、産業デザインに関する研究及び各種生産加工技術に関する研究開発を行っている。その他、工業相談、技術指導、依頼試験分析をはじめとする企業支援のほか各種技術者研修、研究会並びに講習会、開放実験室の運営等、広範囲にわたる業務を管理課、研究企画班、資源環境部、材料開発部、機械電子・デザイン部の 1 課、1 班、3 部で分担している。

1-1 試験研究（概要は 6 ページ）

1) 中小企業を主とする既存企業の技術向上と発展を図る試験研究

業界の研究室としての立場から、その技術上の問題点を把握して研究解明するとともに、高度の生産技術の導入普及・指導を行うもので、本年度の主な研究課題は次のとおりである。

-
- ① 生産システムの高効率化・高精度化に関する研究
 - ② 高精度・高精密及び高度情報機器に関する研究【特定中小企業集積活性化支援強化事業】
-

2) 県内の資源や廃棄物を有効に利用する調査試験と新技術の研究開発

県内で発生する廃棄物の再利用、本県産木炭等の有効利用、環境微生物による環境浄化等、それらの企業化に関する調査・試験研究を行うもので、本年度の研究課題は次のとおりである。

-
- ① 廃棄物の有効利用に関する研究
 - ② 環境保全に関する研究
-

3) 最新技術を応用した新製品の開発やその応用に関する研究開発

最新技術を応用した新製品の開発を目指すとともに、その中で培われた技術を企業の生産技術、新製品開発に応用し、自社製品の確立、新たな産業の創造に寄与することを目的に研究開発を行うもので、本年度の主な研究課題は次のとおりである。

-
- ① 機能性材料の開発と応用
 - ② 分散技術の開発と応用に関する研究
 - ③ 膜乳化技術を用いた肝疾患治療のための DDS の確立【宮崎県地域結集型共同研究事業】
 - ④ 機械及びエネルギーシステムに関する研究開発
 - ⑤ 高周波技術に関する研究
 - ⑥ ミリ波による果実の糖度測定装置の開発【地域新生コンソーシアム研究開発事業】
 - ⑦ 低品質木炭を助燃剤とする家畜排泄物処理とそのエネルギーのカスケード利用システムの開発【都市エリア産学官連携促進事業】
 - ⑧ 吸収式除湿機による温室用空調システムと利用技術の開発【先端技術を活用した農林水産研究高度化事業】
-

4) 依頼試験等に対応するための分析技術の高度化に関する研究

製品生産、品質管理及び不具合製品の原因追及のための高度な分析依頼に応えるため、分析評価技術の高度化及び迅速化に係る試験研究を行うもので、本年度の研究課題は次のとおりである。

① 分析技術の高度化に関する研究

5) 製品価値を向上するためのデザインに関する研究

工業製品に求められている機能やデザインについての工業相談や企業支援業務に応えるため、デザインに関する概念等について最新の情報を取り入れ、使いやすく、デザイン性に優れた製品開発を支援するための研究開発を行うもので、本年度の研究課題は次のとおりである。

① 工業デザインに関する研究

6) その他（受託研究等）

① 過冷却水を用いた球状氷粒子の製造と応用【産学連携戦略・次世代産業創出事業】

1-2 技術の普及指導（概要は 8 ページ）

1) 中小企業技術者の研修（随時）

環境、材料、SPG、電子、機械、エネルギー及びデザイン分野の技術者研修

2) 企業技術高度化研修事業

先端的技術導入研修、技術指導型研修

3) 講習会及び研究会

各種講習会及び新産業創出研究会等

4) 発表会等

研究成果発表会、工業技術センター一般公開

5) 巡回技術指導

環境、窯業、土石、材料、機械、エネルギー、電子及びデザイン等に係る技術指導

1-3 依頼試験分析及び工業相談

1) 工業材料、排水、廃棄物及び窯業原料・製品等の分析

2) 金属材料等の強度試験

3) 各種工業相談

4) 設備利用（一部設備は時間外、休日等も開放）

1-4 技術情報の収集及び提供

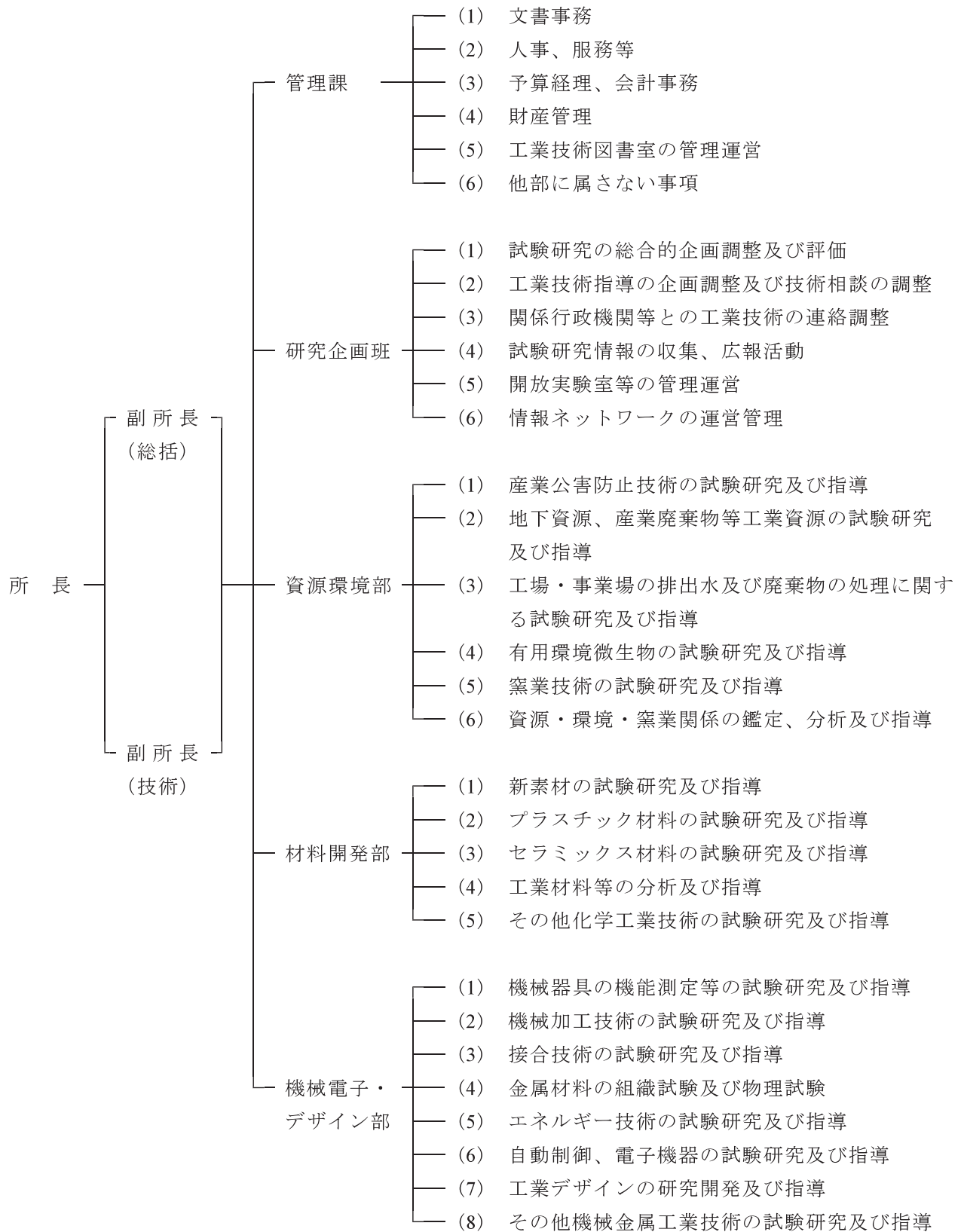
1) 技術情報誌の発行

2) 技術情報の収集及び提供

3) ホームページによる情報提供

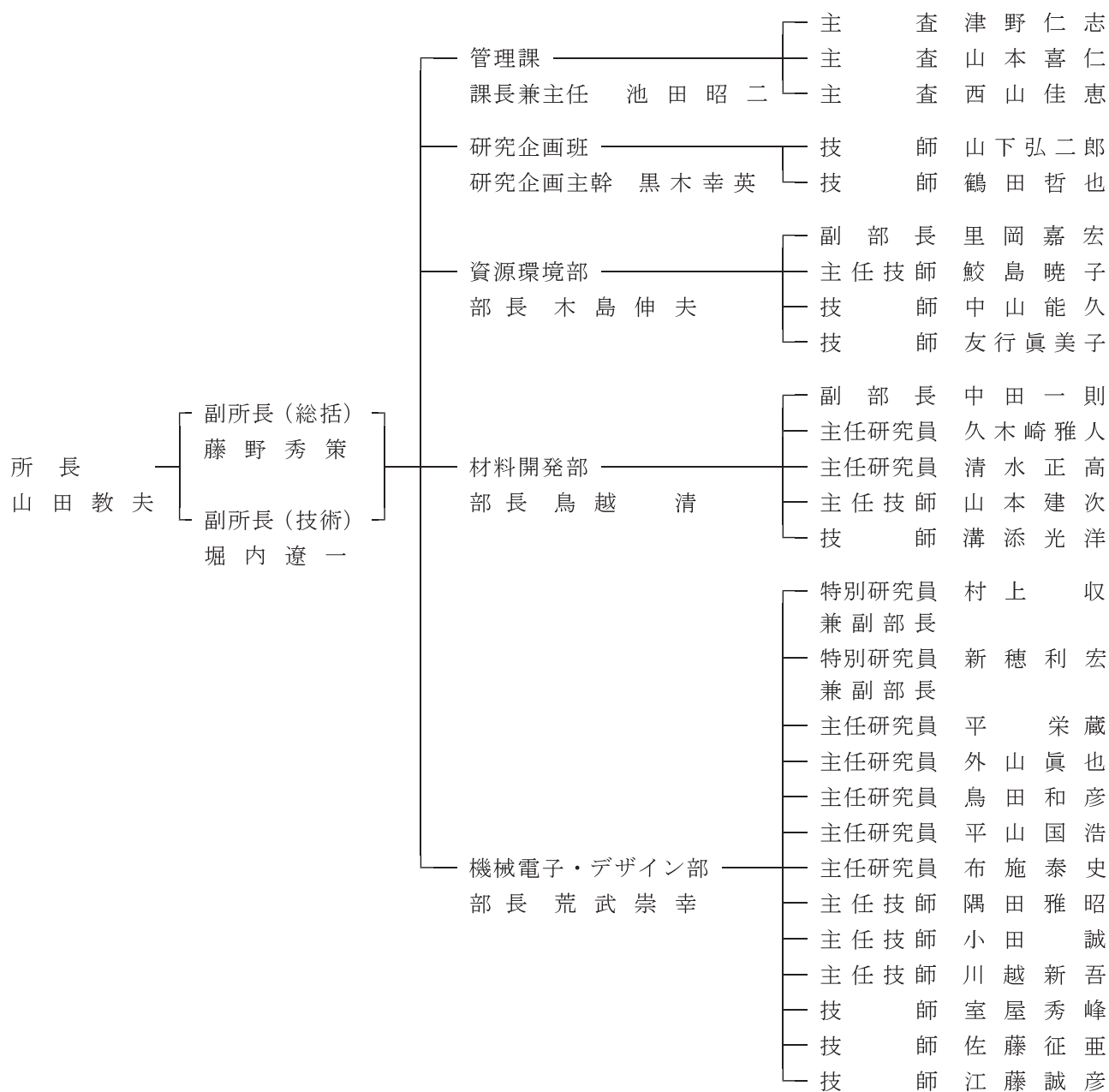
4) メールマガジンによる情報提供

2 組織・事務分掌



3 職員配置表

(平成 17 年 4 月 1 日)



○ 宮崎県機械技術センター派遣 ——— 主任研究員 長 友 良 行

4 職員現況表

	現 員		計	備 考
	事 務	技 術		
管 理 課	6	1	7	所長、副所長を含む。
研 究 企 画 班		3	3	
資 源 環 境 部		5	5	
材 料 開 発 部		6	6	
機械電子・デザイン部		14	14	
計	6	29	35	

5 事項別歳入歳出予算

(単位：千円)

事 項	歳 出	歳 入
◎工業試験場費	252,229	
1 工業技術センター総務管理費	210,131	・国庫支出金 567 ・使用料及び手数料 4,548 ・財産収入 750 ・諸収入 16,325 ・一般県費 187,941 - 計 210,131
(1) 工業技術センター運営管理費	174,248	
(2) 研究員研修事業	1,134	
(3) 研究管理事業	1,169	
(4) 情報提供機能整備事業	4,374	
(5) 広報機能強化整備事業	4,586	
(6) 設備整備事業	24,620	
2 工業技術研究開発費	28,469	・諸収入 4,583 ・一般県費 23,886 - 計 28,469
(1) 廃棄物の有効利用に関する研究	2,088	
(2) 土壌環境微生物の応用に関する研究	1,948	
(3) 機能性材料の開発と応用	4,360	
(4) 分散技術の開発と応用に関する研究	4,000	
(5) 都市エリア産学官連携促進事業	400	
(6) 機械及びエネルギーシステムの研究開発	2,525	
(7) 生産システムの高能率化・高精度化に関する研究	4,984	
(8) 高周波技術に関する研究	3,981	
(9) ミリ波による果実の糖度測定装置の開発	4,183	
3 企業技術支援事業費	13,629	・使用料及び手数料 8,700 ・分担金及び負担金 600 ・一般県費 4,329 - 計 13,629
(1) 依頼試験（分析）に要する経費	4,700	
(2) 設備使用に要する経費	4,000	
(3) 共同研究に要する経費	1,200	
(4) 分析技術に関する研究	773	
(5) 工業デザインに関する研究	1,232	
(6) 企業技術高度化研修事業	1,226	
(7) 巡回技術指導	498	
4 宮崎県技術高度化推進事業費	2,183	・一般県費 2,183
(1) 先端技術分野研究員招へい事業	2,183	
◎ 工鉱業振興費	6,862	
(1) 延岡・日向・門川地域集積活性化関連支援強化事業 高精度・高精密環境機器に関する研究 【特定中小企業集積活性化支援強化事業】	6,434	・国庫補助 3,217 ・一般県費 3,217
(2) 都城・三股地域集積活性化関連支援強化事業 デザイン導入指導助言事業 【特定中小企業集積活性化支援強化事業】	428	・国庫補助 214 ・一般県費 214

6 試験研究の概要

部	研究課題	細目研究課題	研究内容
資源環境部	1-1 廃棄物の有効利用に関する研究 [H16-H18]	1-1-1 鶏糞燃焼灰等の有効利用に関する研究 ※中山能久、友行眞美子 木島伸夫、里岡嘉宏	鶏糞ボイラーから発生する鶏糞焼却灰等のセメント固化について検討し、路盤材の骨材としての適用性を調べる。また、鶏糞燃焼灰からのりんの回収を目指す。
	1-2 環境保全に関する研究 [H17-H19]	1-2-1 環境保全に関する研究 ※鮫島暁子、里岡嘉宏 友行眞美子、木島伸夫	未利用資源を用いて、その脱窒能の評価及び分解機能の解明を行うとともに、微生物担持体としての適正と安全性を確認する。また、脱窒に関与する微生物の分類・固定を行い、その生育最適条件を確立し、土地改良材あるいは排水処理材としての製品開発を図る。
材料開発部	2-1 機能性材料の開発と応用 [H17-H19]	2-1-1 微細金属粒子の新規製造方法に関する研究 ※溝添光洋、山本建次、清水正高 鳥越清	電子部品の実装工程に用いられる微細はんだ粒子について、新規な製造方法の検討を行う。特に粒径が $10\mu\text{m}$ 以下で形状、単分散性に優れたはんだ粒子の量産技術についての検討を行う。
		2-1-2 ナノカプセルの製造技術に関する研究 ※山本建次、溝添光洋、清水正高 鳥越清	ナノサイズのカプセルの製造技術を確立し、微細化の進む実装関連分野を中心に当該技術の応用を図る。
	2-2 分析技術の高度化に関する研究 [H17-H19]	2-2-1 鉛フリーはんだの高精度分析技術研究 ※中田一則、鳥越清、久木崎雅人 清水正高、山本建次、溝添光洋	電子・電気機器で今後使用が普及すると予想される鉛フリーはんだ材の高精度な分析手法として湿式化学分析法について検討する。
	2-3 分散技術の開発と応用に関する研究 [H16-H18]	2-3-1 膜による気泡生成技術の応用に関する研究 ※久木崎雅人、鳥越清	ナノバブル生成技術を食品、分離プロセス等の分野に重点的に応用を進める。また、ナノバブル含有材料の開発に必要なバブル安定性改善の開発なども併行して進める。
		2-3-2 非円形孔金属基板による新規粒子生成技術の開発 ※清水正高、鳥越清、久木崎雅人	非円形孔金属基板による粒子生成技術を確立し、その工学的理論を構築する。併せて金属基板モジュール及び装置を試作し、粒子の品質や生産性から実用性を検討する。
	2-4 宮崎県地域結集型共同研究事業 [H15-H19]	2-4-1 膜乳化技術を用いた肝疾患治療のための DDS の確立 ※清水正高、山本建次	微細化、細網内皮系回避及び肝指向性の三位一体機能を備えた DDS 製剤をデザイン・試作する。また動物実験により実用性を評価する。
機械電子・デザイン部	3-1 生産システムの高効率化・高精度化に関する研究 [H15-H17]	3-1-1 簡易三次元 CAD/CAM ソフトの開発研究 ※外山真也、佐藤征亜	平面と工具形状の先端部分として定義する球体との衝突判定と、その位置座標を求める機能を開発し、NC データを算出するコマンドを開発する。
		3-1-2 細穴加工技術に関する研究 ※川越新吾、新穂利宏、平山国浩 荒武崇幸	小径ドリルによる SKD 材や S50C 材などの生材への長寿命、低コストの加工方法、加工条件等について検討する。

部	研究課題	細目研究課題	研究内容
機械電子・デザイン・イノベーション部	3-2 機械及びエネルギーシステムの研究開発 [H15-H17]	3-2-1 柔軟構造を有する新規な保冷体の研究 ※平栄蔵、村上 収、布施泰史	柔軟構造の保冷体を構成する球状水カプセルの材料検索、カプセル化及び応用に関する研究を行う。
		3-2-2 リハビリテーション支援用歩行器に関する研究 ※布施泰史、村上 収、平栄蔵 隅田雅昭	前年度試作開発した、片手操作式歩行器の医療施設等でのモニタリングを行い、使用評価を解析するとともに改良試作を行う。
	3-3 高周波技術に関する研究 [H15-H17]	3-3-1 高周波 EMC 対策技術に関する研究 ※小田 誠、室屋秀峰、江藤誠彦	前年度までに開発したミリ波帯パッシブイメーシング装置を利用した、高周波 EMC 測定技術と対策技術に関する研究を行う。
	3-4 工業デザインに関する研究 [H17-H19]	3-4-1 宮崎におけるエコデザイン活用に関する研究 ※鳥田和彦、村上 収	宮崎の地域資源や技術特性について考察し、エコデザインの活用と地球環境にやさしいエコプロダクツ製品開発を支援する。
	3-5 高精度・高精密環境機器開発に関する研究 【特定中小企業集積活性化支援強化事業】 [H13-H17]	3-5-1 環境を考慮した洗浄システムに関する研究 [H16-H17] ※平 栄蔵、村上 収	球状氷粒子を用いた各種表面の衝突剥離洗浄システムに関する研究を行い、塗装作業の前処理や機械部品の洗浄工程等の自動化・省力化機器の開発を目指す。
		3-5-2 福祉・介護機器開発に関する研究 [H15-H17] ※布施泰史、村上 収	開発したリハビリテーブルを屋外用として改良試作を行うとともに、シルバーパークでの装備品を想定した高齢者たちが安心して使える健康器具の開発提案を行う。
		3-5-3 精密加工技術に関する研究 [H17] ※川越新吾、平山国浩、布施泰史 (長友良行、知念武志)	マシニングセンターに研削加工用仕上げ工具を取付け、左右に振動するテーブルと組み合わせて、鋼やセラミックスの超仕上げ加工に関する研究を行う。
	3-6 地域新生コンソーシアム研究開発事業 [H16-H17]	3-6-1 ミリ波による果実の糖度測定装置の開発 ※小田 誠、室屋秀峰、江藤誠彦	物体（果実）から発生している微弱なミリ波を受信し画像化するミリ波パッシブイメーシング技術を応用し、「ミリ波による果実の糖度測定装置」の開発を目指す。
	3-7 都市エリア産学官連携促進事業 [H16-H18]	3-7-1 低品質木炭を助燃剤とする家畜排泄物処理とそのエネルギーのカスケード利用システムの開発 ＜サブテーマ②＞ 燃焼・排熱回収システムの開発 ※平 栄蔵	パイロットスケール燃焼炉を設置し、低品質木炭と豚糞の混合燃料体に関する燃焼実験を行うとともに、種々の燃焼方式に関する数値シミュレーションを実施する。
	3-8 農林水産省【先端技術を活用した農林水産研究高度化事業】 [H15-H17]	3-8-1 吸収式除湿機による温室用空調システムと利用技術の開発 ※平 栄蔵	本研究開発では、農業温室用の大容量の湿度制御を可能とするアルコール系吸湿液を利用した吸収式除湿機を設計・試作し、その実用化実験を行う。 今年度は 1000 m ² の実用規模温室に設置した吸収式除湿空調システムを用いて、植物に対する生育環境制御の効果を実証するとともに、エネルギーコスト等との比較検証を行う。
	3-9 産学連携戦略・次世代産業創出事業 [H17-H20]	3-9-1 過冷却水を用いた球状氷粒子の連続製造に関する研究 ※平 栄蔵	直径数mmの球状氷粒子を連続的に、低価格で多量製造する装置の研究を実施するとともに、氷粒子を用いたエアブラスト装置、氷粒子を混練した低温コンクリート等への展開を目指す。

7 技術の普及指導

7-1 研修

件 名	時 期	人 数	場 所
(資) 排水処理技術研修	随 時	若干名	工業技術センター
(資) 廃棄物処理技術研修	〃	〃	〃
(材) S P G 製造技術研修	〃	〃	〃
(材) 膜乳化技術研修	〃	〃	〃
(材) 分析技術研修	〃	〃	〃
(機) C A D / C A M 技術研修	〃	〃	〃
(機) エネルギー利用技術研修	〃	〃	〃
(機) ウォータージェット加工技術研修	〃	〃	〃
(機) 精密測定技術研修	〃	〃	〃
(機) 機械加工技術研修	〃	〃	〃
(機) 専門機械金属電子技術者研修	〃	〃	〃
(機) デザイン技術者研修	〃	〃	〃

7-2 企業技術高度化研修事業

研修事業名	研 修 テ ー マ	時 期	場 所
先端的技术 導入研修	生分解性プラスチックに関する最新の 動向	9 月	工業技術センター
	鉛フリーはんだの最新の動向	7 月	ウェルシティ宮崎
技術指導型 研修	ICP 発光分析技術研修	9 月	工業技術センター
	CAD/CAM による生産工程合理化研修	5 月～12 月	〃
	半自動溶接技術研修	6 月	〃
	パイプ溶接技術講習会	未定	〃
	レーザ加工技術	未定	〃
	二次元 CAD/CAM 技術	未定	〃

7-3 新産業創出研究会

研 究 会	時 期	場 所
(資) 環境資源技術研究会	7, 9, 11 月	工業技術センター等
(材) 材料技術研究会	7, 9, 1, 2 月	〃
(機) 生産・計測技術研究会	年 10 回程度開催	〃
(機) エネルギー技術研究会	6 月～2 月	〃
(機) デザイン研究会	6 月～2 月	〃

7-4 発表会等

件 名	時 期	場 所
(研) 一般公開	10 月 23, 24 日	工業技術センター
(研) 研究成果発表会	1 月下旬	〃

7-5 巡回技術指導

対象業種	指導企業 件 数	実施 時期	地域	指 導 内 容	担 当 部
化学・食品 廃棄物処理・窯業	20 件	4 月 ～ 3 月	県下 一円	工場排水、廃棄物の処理技術 及び窯業技術に関すること	資源環境部
化学・機械・金属 電子・食品	30 件	4 月 ～ 3 月	県下 一円	工業材料、材料品質管理技術、 SPG 製造技術、膜乳化技術等 に関すること	材料開発部
機械・金属・電子 デザイン	70 件	4 月 ～ 3 月	県下 一円	機械加工・測定技術、エネルギー 技術、自動化技術、電子技術、 デザインに関すること	機械電子・ デザイン部
計	120 件				

7-6 溶接技術競技会

大 会 名	時 期	場 所
地区大会	平成 17 年 8 月 29 日 ～ 9 月 20 日	県内 7 地区（延岡、日向、高鍋、宮崎、都城、小林、日南）
県大会	平成 17 年 11 月 2 日	工業技術センター
九州大会	平成 17 年 6 月 5 日	長崎県佐世保市
全国大会	平成 17 年 10 月 9 日	宮城県多賀城市

8 依頼試験分析及び工業相談

担 当 部	依頼試験分析等業務	工 業 相 談
資源環境部	工場排水、産業廃棄物及び 工業資源の分析試験、窯業 製品及び窯業材料の物性試験	水質浄化、産業廃棄物処理、窯業、未利用資源の活用に関する技術相談
材料開発部	工業材料等の分析・試験	工業材料技術、機器分析技術、材料品質管理技術、SPG 製造技術、膜乳化技術、新素材開発・応用技術等に関する技術相談
機械電子・デザイン部	金属材料等の強度試験	電子技術、ソフトウェア、メカトロニクス、エネルギー、機械技術、EMC 技術、デザインに関する技術相談
研究企画班		上記以外の工業技術に関する相談

9 主な会議・研究会等への参加

	会 議	時期	場 所
管理課・研究企画班	公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	6 月	愛 知 県
	九州・沖縄地域産業技術連携推進会議	1 月	鹿児島市
	九州・沖縄地方公設試験研究機関事務連絡会議	6 月	鹿児島市
	全国公設試験研究機関事務連絡会議	9 月	愛 知 県
	産業技術連携推進会議	6 月	京 都 府
	宮崎県立試験研究機関長協議会	未 定	宮 崎 市
資源環境部	産業技術連携推進会議 窯業部会総会	7 月	名古屋市
	〃 窯業部会九州地域部会	10 月	長 崎 県
	〃 資源・エネルギー・環境部会総会	10 月	未 定
	〃 物質工学・資源・エネルギー・環境部会九州地域部会	9 月	熊 本 県
材料開発部	産業技術連携推進会議 物質工学部会総会	7 月	つくば市
	〃 物質工学部会高分子分科会	10 月	京 都 市
	〃 物質工学部会九州地方部会	9 月	熊 本 県
	〃 知的基盤部会分析分科会	12 月	宮 崎 市
機械電子・デザイン部	産業技術連携推進会議 情報・電子部会総会	6 月	埼 玉 県
	〃 情報・電子部会電磁環境分科会	10 月	山 口 県
	〃 情報・電子部会九州地域部会	12 月	長 崎 県
	情報・電子部会信頼性・評価技術研究分科会	3 月	東 京 都
	産業技術連携推進会議 機械・金属部会総会	10 月	神奈川県
	〃 機械・金属部会生産情報システム研究会	6 月 11 月	徳 島 県 産 総 研
	〃 機械・金属部会金型研究会	10 月	宮 城 県
	〃 機械・金属部会九州地域部会	10 月	長 崎 県
	〃 福祉技術部会	2 月	東 京 都
	〃 知的基盤部会計測分科会	10 月	鳥 取 県
	〃 物質工学部会デザイン分科会	6 月	奈 良 県
	九州地方公設試験研究機関デザイン担当者会議	7 月	福 岡 県
	全国デザインセンター会議	2 月	東 京 都

10 主な購入予定設備備品

	設 備 備 品	用 途
機械電子・ デザイン部	電波暗箱	周囲に電波吸収材を張り巡らして、電磁的な仮想無限空間を形成する設備。電磁ノイズ計測に使用する。
	オートグラフ用制御装置	金属材料などの機械試験を行うためのオートグラフ（強度試験装置）の制御を行う。
	大判プリンター	企業の製品展示会、又は発表会等の看板製作及び新製品のサンプル製作等に使用する。
	工具顕微鏡用画像ユニット	工具顕微鏡に取り付けて画面上で真円度等の測定に使用する。

11 技術情報業務

11-1

平成 17 年度	業 務 計 画	6 月	5 0 0 部
平成 16 年度	業 務 年 報	6 月	5 0 0 部
平成 16 年度	研 究 報 告	10 月	4 0 0 部
平成 17 年度	技 術 情 報 誌	年 3 回	4 5 0 0 部

11-2 ホームページ

工業技術センターのホームページを平成 11 年 4 月に開設し、次の情報提供を行っている。

- センター紹介 センターの組織や沿革、各部屋の紹介やセンターまでの交通アクセスについて紹介している。
- 研究報告書検索 過去の研究の概要や研究報告について検索することができるとともに平成 12 年度の研究から PDF ファイルでダウンロードすることができる。
- 所蔵図書検索 工業技術図書室に所蔵している図書の検索が行える。
- 設備紹介 所有している設備の型式、仕様を検索できるほか使用料を調べることができる。
- 企業支援 センターで行っている各種企業支援策について紹介している。
- 工業所有権等 センターの保有している特許等について紹介している。
- 情報提供 センターで発行している業務年報、業務計画、みやざき技術情報、研究報告等を PDF ファイルでダウンロードできる。
- 研究者紹介 センターの研究者の紹介をしている。
- 関連機関リンク センター及び工業に関する有益なサイトへのリンクを貼っている。
- お知らせ センターからの案内を随時紹介している。

工業技術センター／食品開発センター ホームページアドレス <http://www.iri.pref.miyazaki.jp/>

11-3 メールマガジン「つばさネット」

工業技術センターのメールマガジンを平成 14 年 8 月に開設し、月 2 回センターの最新ニュース、講演会、講習会等の行事を登録者に発信している。メールマガジンの登録は、下記のアドレスまたはセンターホームページから行える。

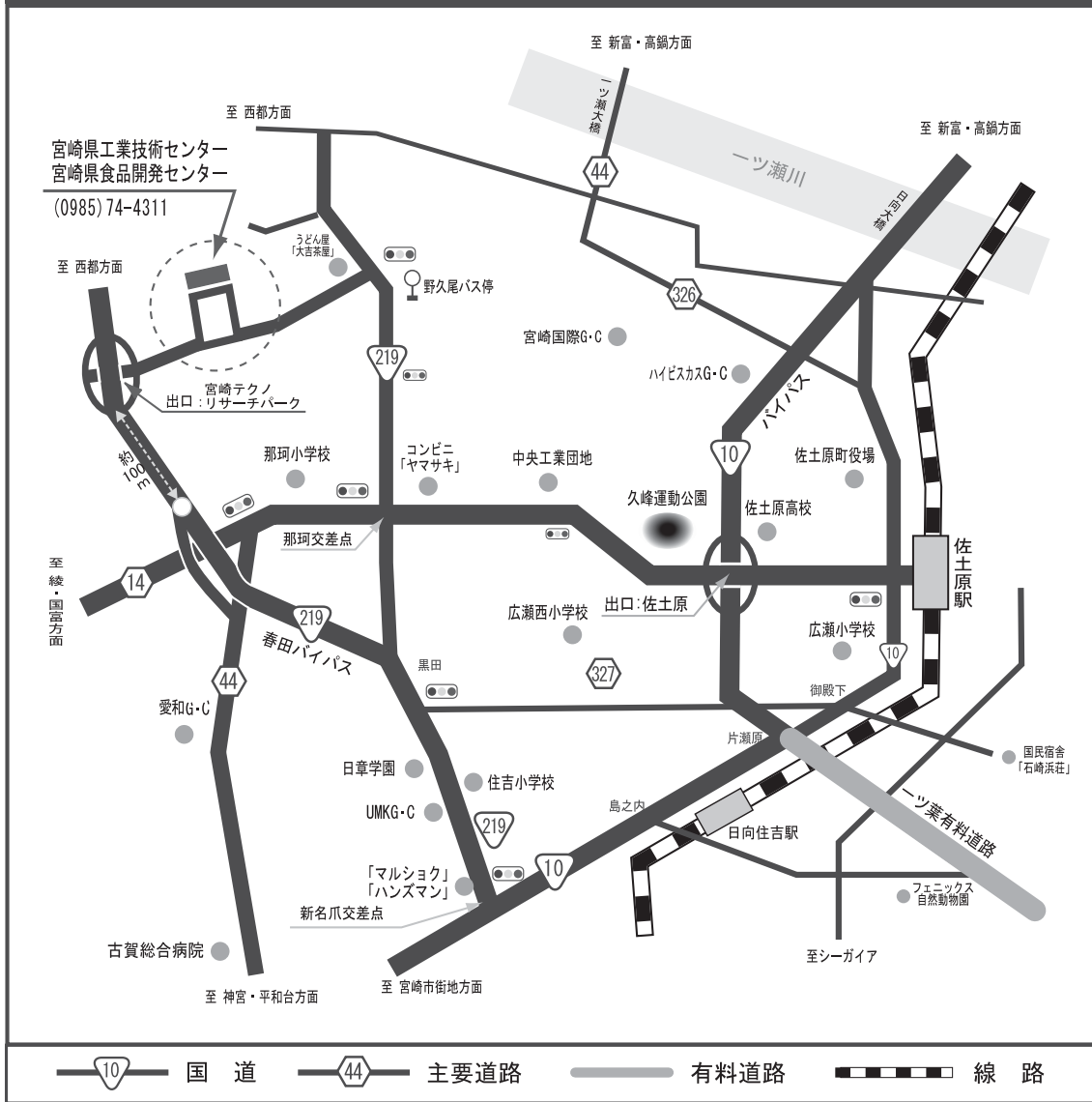
<http://www.i-port.or.jp/events/ml.asp>

附 関係団体等一覧

平成 17 年 4 月 1 日現在

団 体 名	所 在 地	電 話	代 表 者
(財) 宮崎県産業支援財団 (創業支援・情報部門)	宮崎郡佐土原町大字東上那珂16500-2 県工業技術センター内	0985 74-3850	安藤 忠恕
(財) 宮崎県産業支援財団 (設備資金・取引振興部門)	宮崎市松橋2-4-31	0985 25-7530	
(社) 発明協会宮崎県支部	宮崎郡佐土原町大字東上那珂16500-2 県工業技術センター内	0985 74-0900	安藤 忠恕
(社) 宮崎県工業会	宮崎郡佐土原町大字東上那珂16500-2 県工業技術センター内	0985 74-4554	水谷 茂
宮崎県職業能力開発協会	宮崎市学園木花台2-4-3	0985 58-1570	菊野 高雄
宮崎県中小企業団体中央会	宮崎市松橋2-4-31	0985 24-4278	堀之内 砂男
宮崎県商工会議所連合会	宮崎市橘通東1-8-11	0985 22-2161	岩切 達郎
宮崎県商工会連合会	宮崎市松橋2-4-31	0985 24-2055	南崎 洋史
(財) 宮崎県環境科学協会	宮崎市大字田吉6258-20	0985 51-2077	細谷 満洲男
宮崎県異業種交流連絡協議会	宮崎郡佐土原町大字東上那珂16500-2 (財) 宮崎県産業支援財団内	0985 74-3850	川野 利浩
宮崎大学地域共同研究センター	宮崎市学園木花台西1-1	0985 58-2811	黒澤 宏
宮崎県石油協同組合	宮崎市松橋1-10-8	0985 24-7775	竹井 左馬之亮
宮崎県陶芸協会	北諸県郡三股町長田3608 紫麓窯	0986 52-3603	山下 盛親
宮崎県粘土瓦製造協同組合	山之口町大字富吉3548-2 (有) 榎木粘土瓦工業内	0986 57-3000	東郷 健三
(社) 日本溶接協会宮崎県支部	宮崎郡佐土原町大字東上那珂16500-2 県工業技術センター内	0985 74-0990	碓山 裕和
宮崎県鉄構工業会	宮崎市江平西1-2-27	0985 24-8282	富永 豊
宮崎県機械技術センター	延岡市大武町39-82	0982 23-1100	中島 忠夫
宮崎県家具工業会	都城市牟田町15-4	0986 24-2809	橋詰 雅次

■センターまでの主要道路案内図



平成17年度
業 務 計 画

平成17年度

平成17年6月10日発行

宮崎県工業技術センター

〒880-0303

宮崎郡佐土原町大字東上那珂16500-2

TEL 0 9 8 5 - 7 4 - 4 3 1 1

FAX 0 9 8 5 - 7 4 - 4 4 8 8

ホームページアドレス

<http://www.iri.pref.miyazaki.jp/>



古紙配合率70%再生紙を使用しています

■センターまでの主要道路（広域）

